

# 祐介の目

No.100



大田祐介 (福山市議会議員)

いますが、「十日間に十万人が読む雑誌・経済リポート」ですから、次の選挙の成績が良ければ連載が評価されたと言えるのではないかと期待しています。本当は愛犬の話や趣味の話等もつとお気楽な話題も書きたかったのですが、ついつい固くなりがちであったと反省しています。

いずれにしても次回からも市民目線で問題提起や分析をしたいと思いますが、私は常に困難な政治課題を解決するにはどうしたら良いかを考えています。その代表例が芦田川河口堰の開放です。何度否定されても「悔しさ」をバネに別の方法を考え、いつかは実現させてやるという野望に燃えています。

最後に12月29日に連載百回記念講演会を「ふな屋」で企画しています。「祐介の目」愛読者ならどなたでも参加できます。(会費6000円)ゲストにミステイのお二人をお呼びし、山野ワインを傾けながら連載に対する感想をお聞かせいただければ幸いです。また特典として百回分をまとめた小冊子をプレゼントする予定です。多数の参加をお待ちしています。

申込み・福山健康舎

☎ 084・931・4572

## 連載百回記念

平成23年10月から始まった連載も足かけ8年、ついに百回を迎えました。ひとえにリポート編集部及び読者の皆様のお陰と感謝申し上げます。当時は広島大学大学院社会学研究科マネジメント専攻を修了したばかりで、修士論文の書き方を厳しく指導されたこともあり、毎回八百字余りの原稿に起承転結を入れるべく努力してまいりました。一次チェックは妻が担当し、結構ダメ出しが多い(笑)しかし、締切りに遅れたことは一回も無かったはずです。

さて、百回を振り返ってみますと様々なテーマ、市政全般、時事問題、歴史、国際交流、ワイン、バイク、登山等々思うままに書かせていただきました。評論家ではありませんので伝聞ではなく必ず自らの経験や発言した事に基づく内容を書くよう心掛けたつもりです。概ね私の議会活動に関連する内容が多かったと思